

令和 5 年 2 月 1 日

運動の協調性の評価

〇〇 〇〇 君 6 歳

☑全体像

・素直に、口頭指示に従い、課題を進めることができました。グループレッスンでも、時々、順番が待てないようなこともありました。この点もグループレッスンで身につけてもらえたらと思います。また、初めてやる運動は、直ぐにやらず、様子を持って納得してから取り組む姿も見られ、悪くはないと思います。新しい運動への理解スピードの向上を育てていきたいと思っています。

☑感覚

・お父様からお話を聞きました。感覚についての問診でチェックされた項目は特にありませんでした。大きな問題はないと思います。もし感覚面で、「過敏」「鈍麻」「こだわり」など見受けられることがありましたらご相談ください。

☑協調運動（80 点満点中 42 点）

・スムーズな運動を行うためには、運動を調整する機能（協調運動）が必要です。応用的な協調運動は、大小のボールを使用して評価します。具体的には、投球動作、捕球動作およびキック動作を次の方法で行うことで、応用的な協調運動の程度を評価することができます。

平均点では定型発達児が 8 歳で満点となります。定型発達児参考年齢では〇〇君の点数は 3 歳程

度です。ボール遊びに慣れていないこともあるかもしれません。動くものを視覚で捉え、対応することがまだうまくできていないようです。今後、この点をグループレッスンで伸ばしていきたいと思います。

④運動イメージ（25点満点中6点）

運動イメージとは、自身あるいは他者における四肢の運動（両手足を動かす）を想像することです。つまり、四肢の運動を頭の中で想像したものであり、心象ともいわれ、写真的な静止画、あるいは映画のような動画として認識されます。この動きの想像が正確であるほど、四肢を精密に動かすことが可能となります。今回は口頭指示と絵カードで評価しました。

定型児の平均参考年齢からみると3歳程度となります。このテストは、口頭で姿勢を指示するもので、言葉の理解が一定程度進んでいることが必要です。日常会話で問題があまりなくても、言葉から姿勢・運動などを想起することは容易ではありません。今後、この点をグループレッスンで伸ばしていきたいと思います。

理学療法士 新田 収